

生徒指導のなかで
はぐくむ①

“自己存在感”

島根県教育センター
教育相談スタッフ・相談セッション

生徒指導とは

【生徒指導の定義】

社会の中で自分らしく生きることが出来る存在へと児童生徒が、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動のこと

出典：「生徒指導提要」文部科学省2022年

生徒指導とは

【生徒指導の目的】

生徒指導は、児童生徒一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えると同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支える。

出典：「生徒指導提要」文部科学省2022年

生徒指導とは

すべての児童生徒が

- ▶ 幸せに
- ▶ 自分らしく
- ▶ 伸びていく

すべての
教職員によって

“支え、応援する”営み

生徒指導のなかではぐくむ①

“自己存在感”



生徒指導の実践上の視点

学校生活のあらゆる場面で、
「**自分も一人の人間として大切にされている**」という**自己存在感**を、児童生徒が**実感**することが大切

出典：「生徒指導提要」文部科学省2022年

前提となる「子ども観・発達観」

もともと子どもは、周囲の人から

- 関心をもたれている
- 大切にされている
- 認められている
- 理解されている
- 愛されている



等と、感じられると

出典：教師用指導資料「ささえあって」島根県教育委員会

前提となる「子ども観・発達観」

自らの内にある**自己成長力を発揮**し、
主体的・意欲的に物事に立ち向かっていく



出典：教師用指導資料「ささえあって」島根県教育委員会

前提となる「子ども観・発達観」

☑子どものもつ「自己成長力」を信じていることができるか。

☑自らの「子ども観・発達観」の振り返りやアップデートが
できているか。



関心を寄せ
てもらって
いるなあ

➤ 幸せに
➤ 自分らしく
➤ 伸びていく

私は
大事にされ
ているなあ

認めて
もらえて
いる感覚

僕のことを
わかっても
らっている！

子ども自身の“実感”

教職員と
の関係で

家族の
なかで

子ども
同士で

地域の
なかで

子ども自身の“実感”

ミニ
ワーク①

子どもたちの“実感”を育むには？

私たち教職員との関係のなかで、子どもたちにこのような感覚を育むために、
・できそうなこと・必要なこと・大事にしたいこと 等
思いつくことを箇条書きしてみましょう

・関心をもたれている
・大切にされている
・認められている
・理解されている
・愛されている、etc.

<input type="checkbox"/>	_____	<input type="checkbox"/>	_____
<input type="checkbox"/>	_____	<input type="checkbox"/>	_____
<input type="checkbox"/>	_____	<input type="checkbox"/>	_____



ミニワーク① 子どもたちの“実感”を育むには？

私たち教職員との関係のなかで、子どもたちにこのような感覚を育むために、
 ・関心をもたれている
 ・大切にされている
 ・思っている
 etc.

動画は一旦停止

記入→話し合い

15

学校は「できる」「わかる」を目指す場所

やればできる！
 がんばれ！
 できたね！
 すごいね！
 できた？
 わかった？

Doing

「行為」に関する声かけ・かかわり

14

~する
 できる
 わかる

Doing

Being

居る
 存在している
 その子らしさ

15

「存在」への承認を伝える

↓

「自己存在感」を育む

Being

居る
 存在している
 その子らしさ

16

気にかけてもらっているな
 私は私でいいんだ
 自分のことを分かってもらえている

Doing
 学び
 人とのかかわり

入っていいな
 世の中っていいな
 大事にしてもらっているな

Being
 今、ここに存在している

「自己存在感」 = 学びを支える土台

ミニワーク② 「かかわり」を2つの視点で振り返ってみよう

(1) ミニワーク①で考えた「かかわり」を次の視点で分類する。

・“Doing”の視点でのかかわり
 ・“Being”の視点でのかかわり

ミニワーク① 子どもたちの“実感”を育むには？

私たち教職員との関係のなかで、子どもたちにこのような感覚を育むために、
 ・できそうなこと・必要なこと・大事にしたいこと 等
 思いつくことを箇条書きしてみましょう

がんばっている場面で声をかける
 子どもの話をよく聴く
 学活で互いの良さを認め合う活動を取り入れる

日記のコメント
 励ましの声かけ

ミニワーク① 子どもたちの“実感”を育むには？

私たち教職員との関係のなかで、子どもたちにこのような感覚を育むために、
 ・できそうなこと・必要なこと・大事にしたいこと 等
 思いつくことを箇条書きしてみましょう

がんばっている場面で声をかける
 子どもの話をよく聴く
 学活で互いの良さを認め合う活動を取り入れる

日記のコメント
 励ましの声かけ

・関心をもたれている
 ・大切にされている
 ・認められている
 ・理解されている
 ・愛されている、etc.

ミニワーク② 「かかわり」を2つの視点で振り返ってみよう

(2) 分類したことをもとにペアやグループで話しあってみましょう。

【話し合いの視点】
 ◎かかわりを“Doing”“Being”2つの視点で見つめてみての気づき
 ◎自分自身のかかわりを振り返って感じたこと

ミニワーク① 子どもたちの“実感”を育むには？

私たち教職員との関係のなかで、子どもたちにこのような感覚を育むために、
 ・できそうなこと・必要なこと・大事にしたいこと 等
 思いつくことを箇条書きしてみましょう

がんばっている場面で声をかける
 子どもの話をよく聴く
 学活で互いの良さを認め合う活動を取り入れる

日記のコメント
 励ましの声かけ

ミニ
ワーク②

「かかわり」を2つの視点で
振り返ってみよう

(2)

動画は一旦停止



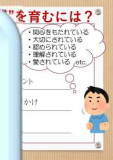
記入→話し合い

【説

◎

2つの視点で振り返ってみよう

◎自分自身のかかわりを振り返って感じたこと



「自己存在感」をはぐくむかかわり

○「やり方」はさまざま。

人それぞれ自分にフィットする方法がある。

○スキルよりマインド。

教職員の価値観やまなざしは、子ども
たちへ自然と伝わっていく。

気に
かける

手を
かける

4つの
“かける”

目を
かける

声を
かける



気に
かける

- ・子どもが話したことや
出来事を覚えている
- ・信じる
- ・子どもの思いを想像する
- ・わかろうとする
- ・自分のかかわりを振り返る



気にかける



- ・肯定的な関心
 - ・元気かな？
 - ・どんな表情かな？
 - ・変化はないかな？
 - ・何か困っていないかな？
- etc.

目にかける



- ・注意深く「^み診る」
 - ・にっこり微笑む
 - ・目を合わせる
 - ・明るい穏やかな表情
 - ・持ち物や服装・髪型の変化に気づく
- etc.

手にかける



- ・手伝う
 - ・助ける
 - ・「一緒に〇〇しよう」
 - ・丁寧にかかわる
 - ・途中経過も確かめながら
 - ・最後まで見届ける
- etc.

声にかける



- ・穏やかな声のトーンで
- ・教師の方からの声かけ
- ・笑顔であいさつ
- ・何気ない雑談
- ・子どもの話を聴く

声をかける



- ・名前を大事に呼ぶ
- ・その子の好きなことや得意なことを話題に
- ・小さな気づきを言葉に

髪切った？

元気なさそうに見えるけど何かあった？

声をかける



- ・“届く”言葉
- ・“次”に繋がる言葉
- ・気持ちを伝える言葉

ありがとう

助かった！

嬉しいな

また明日ね

元気？

待っていたよ

子どもたちは
自らの内にある**自己成長力を発揮し、**
主体的・意欲的に物事に立ち向かっていく

Doing

Being

4つの“かける”

気にかけてもらっているな

私は私でいいんだ

自分のことを分かってもらえている

人っていいな

世の中っていいな

大事にしてもらっているな

生徒指導とは

すべての児童生徒が

- **幸せに**
- **自分らしく**
- **伸びていく**

すべての教職員によって

“**支え、応援する**”営み

生徒指導のなかではぐくむ①

“自己存在感”



【参考・引用】

- ・生徒指導提要（文部科学省）2022年
- ・教師用指導資料 ささえあって（島根県教育委員会）1995年
- ・乳幼児期から育む自尊感情（近藤卓）2015年 エイデル研究所
- ・どうしても頑張れない人たち
～ケーキの切れない非行少年たち2（宮口幸治）2021年 新潮新書
- ・教師たちのとっておきの言葉（諸富祥彦 他）2022年 図書文化社

【BGM】

- ・甘茶の音楽工房 <https://amachamusic.chagasi.com/>